

佐倉市議会だより



2017年5月1日
(平成29年)

発行：佐倉市議会 編集：広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL 043-484-6254 FAX 043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp

予算審査特別委員会を設置

平成29年度の一般会計、各特別会計、公営企業会計の予算審査を行うため、予算審査特別委員会を設置しました。

選出した委員は次のとおりです。

◎櫻井道明 ○岡村芳樹 徳永由美子 敷根文裕
望月圧子 高木大輔 萩原陽子 五十嵐智美
小須田稔 石渡康郎 清宮誠
(◎…委員長、○…副委員長)



全員協議会室での審査



(仮称)佐倉西部自然公園
多目的広場予定地の現地視察

2月定例会

佐倉市議会は、2月20日から3月21日までの30日間にわたり、平成29年2月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「平成29年度佐倉市一般会計予算」や「平成28年度佐倉市一般会計補正予算」など議案43件と諮問1件が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

陳情については、「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書1件、議員提出議案については、「一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」など7件が提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に5人、個人質問に10人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

平成29年度
一般会計予算
468億9200万円

平成29年度予算を審査

予算審査特別委員会は、4日間にわたり担当課長などからの説明を受け、慎重に審査を行いました。

定例会最終日の本会議場において、櫻井道明委員長から審査結果報告があり、次の6点について要望しました。

●保育園の開設においては、子どもの保育環境の充実を最優先とした施設となるよう、考慮していただきたい。

●地域まちづくり協議会の活動が、地域課題解決に有効な取り組みとなるよう、単なる財政的支援だけでなく、市が期待する具体的な取り組みを明示するなど、活動に対する支援にも努めていただきたい。

●社会福祉協議会の経営改善が図られるよう、事業運営の透明性の向上や事務改善等の指導、助言を積極的に行うとともに、人事交流を通じた人的支援についても検討していただきたい。

●シティプロモーションの有効な手段として、平成29年で終わる佐倉・城下町400年記念事業での成果を日本遺産への取り組みにつなげていただきたい。観光の支えとなる公共交通を拡充し、さまざまな佐倉の魅力をも有機的に発信していくためにも、市内での組織横断的な連携にとどまらず、民間団体等とのさらなる協力関係を築いていただきたい。

●佐倉図書館等複合施設整備については、設置予定地である新町地区が歴史的な町並みであることに鑑み、景観の保全に重点を置き、組織間の連携を図りながら、十分に検討していただきたい。

●指定管理者制度に関しては、選定方法の再検証と併せ、各施設の最適な管理方法についても、十分に精査していただきたい。

平成29年度各会計の予算額

※会計名の丸数字は議案番号

会計名	予算額	前年度比
①一般会計	468億9,200万円	+1.1%
②国民健康保険	220億3,335万2千円	-0.9%
③公共用地取得事業	275万7千円	-27.1%
④農業集落排水事業	2,178万3千円	-8.4%
⑤介護保険	113億3,767万4千円	+0.7%
⑥災害共済事業	534万7千円	-0.2%
⑦後期高齢者医療	20億 742万1千円	+2.2%

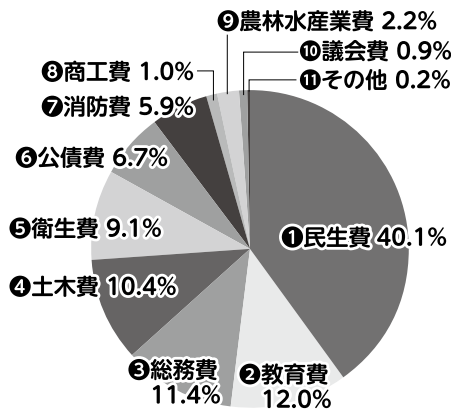
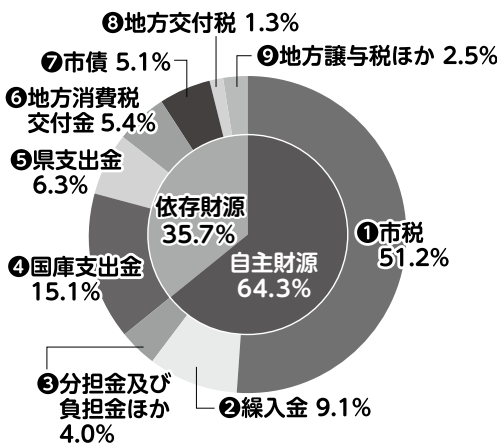
会計名	収益的収入	収益的支出
⑧水道事業会計	40億8,392万5千円	37億 536万8千円
	資本的収入	資本的支出
	1億5,103万7千円	19億 427万8千円

会計名	収益的収入	収益的支出
⑨下水道事業会計	37億7,370万円	33億9,507万4千円
	資本的収入	資本的支出
	6億5,439万7千円	13億9,110万3千円

～①一般会計(468億9,200万円)の内訳～

【歳入】	
自主財源	①市税 240億 268万4千円
	②繰入金 42億5,431万円
	③分担金及び負担金ほか 18億9,360万円
依存財源	④国庫支出金 70億9,878万円
	⑤県支出金 29億6,832万6千円
	⑥地方消費税交付金 25億5,000万円
	⑦市債 23億7,330万円
	⑧地方交付税 6億円
	⑨地方譲与税ほか 11億5,100万円

【歳出】	
①民生費	187億9,307万9千円
②教育費	56億1,914万8千円
③総務費	53億5,815万1千円
④土木費	48億8,728万円
⑤衛生費	42億8,188万9千円
⑥公債費	31億6,282万2千円
⑦消防費	27億7,299万3千円
⑧農林水産業費	10億5,006万7千円
⑨商工費	4億7,631万8千円
⑩議会費	4億1,020万3千円
⑪その他	8,005万円



代表質問

さくら会
高木大輔たかぎだいすけ

平成29年度当初予算について
予算編成の留意点を伺う。
佐倉市版総合戦略に掲げる4つのまちづくり方針に基づく施策の推進が図れる事業を重点的に選択した。
少子高齢化、災害対策等の重点課題に対する施策を伺う。
災害対策では、マンホールトイレを設置する防災施設整備事業や都市排水路・調整池の改修事業。子育て支援対策では、病児・病後児保育事業、認可外保育施設利用者運営助成事業の拡大など。市の魅力発信施策としては、シティプロモーション事業や日本遺産活用推進事業など。地域活性化施策では、佐倉草ぶえの丘整備事業などを計上。
高齢者福祉施策は、生きがい支援等、福祉意識の向上を図ることが重要と考えるが、どのような点を重視したか伺う。
高齢者の生きがいづくりや、地域包括ケアシステムの構築などの施策を重視した。

市政に関する
一般質問

2月定例会では、2月27日から3月2日までの4日間にわたり、15名の議員が一般質問を行いましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所 1 号館 2 階市政資料室・市内各図書館にて会議録（6 月上旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム（6 月上旬配信予定）からご覧いただけます。なお、一般質問の様子は、佐倉市議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問

※は持ち時間1時間、それ以外は30分。() 内は会派名。
【】内は関連質問した同じ会派の議員。

高木大輔（さくら会）※ ①市長の政治姿勢 ②選ばれるまちづくり ③公共施設の老朽化対策 ④高齢者福祉 ⑤農業の振興 ⑥当面の課題
森野正（公明党）【小須田穂】※ ①予算総括質問 ②少子高齢社会への対応とまちづくりについて ③市民協働について ④立地適正化計画と公共交通網の整備について ⑤公共施設管理について
大野博美（市民ネットワーク） ①市長の政治姿勢について ②自殺のない社会づくりをどう進めるか ③福島原発事故自主避難者の住宅問題について
斎藤明美（のぞみ）【徳永由美子】※ ①市長の政治姿勢 ②障害者施策について ③防災について ④2020年東京オリンピック・パラリンピックについて
萩原陽子（日本共産党） ①平成29年度予算と産業振興 ②待機児童対策について ③生活保護制度の適正な運用について

個人質問

岡村芳樹（公明党） ①東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて ②災害廃棄物処理計画について ③市民サービス向上に向けた取り組みについて
藤崎良次 ①市長の政治姿勢（新年度予算、戦没者慰霊、佐倉惣五郎と佐倉市、一汁一菜、国保税計算ミス他） ②上下水道問題
石渡康郎（さくら会） ①防災体制について ②空き家対策について ③2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした佐倉市の取り組みについて
橋岡協美（のぞみ） ①将来にわたって住み続けたいと思える「まち」について ②最期まで自分らしく生きることが出来る佐倉市について ③快適で、安全・安心なまちづくりについて
平野裕子（さくら会） ①高齢者福祉について ②子育て支援について ③公共施設等のあり方について
富塚忠雄 ①子育て支援について ②井野長割遺跡について ③改正道路交通法への対策について
木崎俊行（日本共産党） ①指定管理者制度について―公共サービス市場化の是非 ②NHKスペシャル「見えない“貧困”～未来を奪われる子どもたち」に寄せて ③公共交通の充実について
伊藤壽子（市民ネットワーク） ①市民協働について ②共通番号（マイナンバー）制度について ③ワクチン接種問題について

敷根文裕（さくら会） ①再任用の見直しについて ②高齢者支援と子育て支援について ③印旛沼周辺地域と歴博の活用について ④空き家、古民家の活用について ⑤企業誘致と市内雇用について
五十嵐智美（市民ネットワーク） ①子どもの成長を育む環境づくりについて ②次期高齢者福祉・介護計画について

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

シティプロモーションについて
今後、市民が主体的に参加できるシティプロモーション活動をを進める必要があると考える
佐倉市も実態をつかもうとすれば今持っている資料で推測するのではなく、調査すべきである。
既存データで把握できる数値と推移を見る中で、実態調査を実施する内容、時期について検討したい。
学習支援について
これからの学習支援のあり方を市はどう考えているか。
生活困窮者のみに限定した学習会の設定は難しい。地域で子供たちが集い、学習できる場を支援し、困窮している家庭の子供たちも参加してもらうという形で運用していく必要がある。
交通網の整備について
来年度、コミュニティバスの導入へ試験運行が予定されているが、予定地域の選定は。
交通空白地域の居住人口等から、志津北側地区、畔田・下志津地区、南部地区の3つの地域を選定している。
白井、千代田地区の畔田・下志津ルートは。
白井駅から王子台6丁目、

市民ネットワーク
大野博美おのひろみ
生谷、畔田、下志津、東邦大学病院を經由し、ユーカリが丘駅を結び、二つの駅を往復する運行経路を計画している。
地下水を利用し続けるために
2月1日、印旛郡市の首長で知事に会い、暫定井戸の継続利用を要望したと聞く。ハッ場ダム完成が迫り時間がない中、要望書を出すだけでなく、次の手を早急に打つべきではないか。
環境部と水道部が協力して進めるよう、また県との協議を積極的に進めるよう指示した。
印旛広域が地下水削減率を15・3％と48・3％の2通り示したが、15・3％で行きたいと明確に意思表示をすべき。
水道料金への影響を考え、15・3％の案を意思表示した。
佐倉市は自殺率が全国平均より高いが、要因は何か。
現時点では把握していない。
未遂者はまず救急病院に運ばれるので、病院と市が連携して情報共有し支援に取り組むこ

のぞみ
斎藤明美さいとうあけみ
平成29年度予算について
PDCAサイクルの取り組み状況について伺う。
各担当課において目標達成のための改善策の検討を行った。
障害者施策について
障害者差別解消法（28年4月施行）の推進について伺う。
障害特性やサポート方法について掲載したパンフレットの発行を予定。市の職員を対象に障害者差別解消法の不当な差別の取り扱いの禁止や合理的配慮についての研修も行っていく。
防災について
防災体制や避難行動に対する見直し等についての考えは。
避難情報の伝達方法や発令

日本共産党
萩原陽子はぎわらようこ
印旛沼周辺地域の農業振興
基準の見直しなどを行う。
2020年東京オリンピック・パラリンピックについて
ボランティアの募集、研修、人材育成などの考えを伺う。
アメリカ陸上チーム事前キャンプ地のボランティア計画の検討を進めていく。
（徳永由美子 関連質問）
29年度予算で、乳幼児期、学齢期、青年期の予算と比率。
区分が困難な44億を除き、乳幼児期約38億円8・2％、義務教育期約29億円6・2％、20歳までの青年期として約800万円0・02％。
施策の狭間に落ちている高校生から20歳の若者の居場所づくりや参画事業の充実を要望。
準要保護世帯の新入学児童生徒学用品費を今後倍額に引き上げる見直しについて伺う。
国の動向を見守り対応する。
中学校入学時には2・5倍の5万8880円と必要な時期に支給する検討を要望する。

市内農業者の高齢化は深刻
10年間の農業戸数減少は350戸以上、耕作放棄地も増えている。印旛沼周辺地域活性化プランに国が補助する3億7100万円の多くが草ぶえの丘整備事業に充てられるが、農業振興に活かせるか。
施設整備を通して地産地消の推進、農産物の販路拡大、6次産業化の支援等で所得を向上させ農業活性化につなげたい。
目標は定めているか。
具体的には定めていない。
農業は生きるために必要な産業。地産地消で活性化を。
今年度の調査費1026万円は市民ニーズ調査に充てるか。
基礎調査で市民ニーズの把握、周辺施設の機能や規模の再編、整備方針等の検討を予定。
複合化を予定しているが、当初教育委員会が希望していた図書館スペースを縮小することにならないか。
図書館の規模については、複合施設としての機能を勘案し現在の1・5倍から2倍を想定。
魅力ある図書館を作ることが地域活性化の要になる。

個人質問

公明党 岡村芳樹

東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて

昨年、アメリカ陸上チームの事前キャンプ地に佐倉他2市が決定され、12月にホストタウン認定登録。計画を伺う。

2019年までは国際大会リハール大会練習場所の提供中学、高校生の相互訪問、日本人オリンピック・パラリンピアンの講演会や競技体験会の実施、受け入れボランティアの募集と育成を計画。2020年は、佐倉他2市と合同歓迎イベント、アメリカ陸上チーム陸上教室実施、日本文化体験メニュー招待を計画。2021年以降は、国際試合練習場所の提供、中学、高校生の相互訪問、日本人オリンピックやパラリンピアンの講演や競技体験会、観光ボランティア活躍の場の提供を行う。

野球ソフトボール競技について

5月完成の長嶋茂雄記念岩名球場を世界にアピールし利用していただくべき。正式種目となるソフトボールのナショナルチーム等への取り組みを伺う。

2018年に県内で女子ソフトボール世界選手権が16チーム参加で行われるので事前キャンプ誘致等を全力で取り組む。

新年度予算への取り組み

市長として丸10年を迎えるが、箱物行政でなく派手さはないが、自分自身としてどうアピールすべきと思っているか。

さまざまな施策を重ね、財政の改善も行い、課題も多くが解決し、今後は前向きな施策が打てると考えている。

戦没者追悼、慰霊

追悼式では参加者が年々少なくなる。このことへの対策は。追悼式への参加者減は否め

ない。参列者の範囲や受付方法等の見直しを検討したい。

国保税の口座振替ミス他

昨年12月の振替ミスでは、振替依頼の認証確認はしたか。

これまでデータ処理ごとの認証確認は未実施だった。今後は文書にて実施していきたい。

他の課などを含む全庁的なミス防止対策をしてほしい。

まだ行っていないが今後、他の所属に対し、庁内横断的な情報共有、改善策の徹底に努める。

下水道値上げ(33%)への疑問

入札で本年度の落札率は82%であり、定価より18%も安い。値上げは24%が良いが。

入札差金を見込むことは、好ましくなく、考慮していない。

防災体制について

佐倉市での消防団機庫の建て替え時期について伺う。

消防団機庫は市内に52か所設置されており、建て替えは、年1棟程度行っている。

首都直下地震にも備えるうえで、耐震基準に合っていない機庫は、早急に建て替えるよう要望する。

空き家対策について

管理不全の空き家に関する周辺住民からの相談件数と、相談への対応について伺う。

相談件数は平成28年度が1月末現在で143件と3年続けて増加している。対応は、法に基づき現地を確認し、所有者が判明した場合は現地の状況が改善するまで確認している。

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした佐倉市の取り組みについて

ホストタウンとして、佐倉市ではどのような交流事業を考えているのか。

市内の子供たちの協力を得ながら、体験型の交流、おもてなしを中心に事業を設けたい。さらに、佐倉市の子供たちとアメリカの子供たちの相互訪問なども検討したい。

のぞみ 橋岡協美

町会・自治会の運営課題

高齢化、担い手不足等運営課題への施策を伺う。

自治会・町内会運営マニュアルを作成し地区代表者会議で配布予定。全庁的な検討委員会を設置し支援の指針を作成する。

自治会などの管理街灯が市に移管され、LED化されるがその後の管理を伺う。

電気料を含め蛍光灯・電球の交換等の維持管理も市が行う。街灯修理は地元業者での対応を考えており簡易修繕工事参加者名簿等への登録をお願いしたい。

高齢ドライバーの事故防止策

高齢者が運転できる仕組みづくりについて伺う。

市・警察・医療関係者と対策会議を行い最良策を検討する。

人生最終段階の医療

人生最終段階の医療と看取り、事前指示書について伺う。

在宅の看取りに対応する市内医療機関は15施設。終末期医療と意思表明の問題は研究する。

低炭素住宅・高断熱化住宅

健康メリットについて伺う。

国土交通省から住生活省エネルギー化は健康状況に効果が得られる旨報告がされた。庁内連携し熱中症対策等に取り組む。

子育て支援について

志津駅、ユーカーが丘駅、そして平成29年には白井駅の近くにも保育園が整備されるが、現在、京成佐倉駅、JR佐倉駅には徒歩圏内の保育園がない。今後、保育ニーズが高いゼロから2歳のお子さんを対象とした小規模保育の整備予定はあるか。

現在予定はないが、今後の保育ニーズを把握した上で必要に応じ整備について検討したい。

転出抑制として市の美術館等は親子で何度も楽しめる割引を適用していただきたい。

今後は利用実績なども踏ま

えながら検討を重ね、1人でも多くの市民に来館していただくよう努めていきたい。

県の子育て家庭優待カード、チーパスの導入を提案する。

公共施設のあり方について

維持管理費を含めたライフサイクルコストの観点から長寿命化していくより建て替えたほうがよい場合も多々あるのでは。

長寿命化については基本方針の1つとしているが、施設の改修や更新に当たり、全ての建物を長寿命化するのではなく、個別の状況を踏まえて、最も効果的・効率的な手法を検討する。

気軽に授乳やおむつ交換ができる場所の設置について

イベント会場に乳児を持つ母親等が安心して外出できる施設として、茨城県高萩市では子育て支援の一環として「赤ちゃんの駅」を野外イベントで設置し好評を博している。佐倉市では、イベント時に授乳室などの確保をどのように対応してきたのか。また、今後はどのようにしていくのか伺う。

佐倉市では、イベントを開催する際には、おむつがえや授乳できるスペースについて、近隣の公共施設や商業施設で利用できるよう配慮をしている。提案いただいた「赤ちゃん駅」は、子育て支援の一環として効果的な事業であると考えているので、実施内容について研究していきたいと考えている。

高齢ドライバーの代替交通手段について

免許更新時に認知症と診断された場合、免許取り消しを受け、生活に影響がでるが、早急に代替交通手段の確保が必要だ。

平成29年度以降、実証運行を予定しているコミュニティバスの本格運行時に割引などの市独自の特典を検討したい。

日本共産党 木崎俊行

安倍政権発足前と比較して実質18万円も年収は減。アベノミクス・消費増税増税頼み路線が努力の報われない日本経済へ

指定管理者制度も公共事業の市場規模は潜在的に約10兆円。それを営利企業に回せとの財界要求である。導入後の見解は。

高い評価を得ている。サービスの質向上、経費の縮減で最適化を実現したい。

利潤が出るのなら市民サービスの向上に転化されるべき。指定管理者指定議案参考資料に今後、利用者の声、職員の声が十分反映されるよう要望する。

NHK番組見えない貧困、未来を奪われる子どもたち

番組内、「自助努力の限界、税制、社会保障の改革、教育保障の必要性」がうたわれ、実質可処分所得は落ちている。入学準備金の倍増と入学に間に合う前倒し支給を求める。

倍増は国の動向を見て対応する。保護者の意向をくみながら、現制度に沿って進めたい。

大多喜町も給食費完全無料化を実現。市で3人目から半額にした場合の予算額はどうか。補正で実現できる額だと考える。

年間1379万円である。

市民ネットワーク 伊藤壽子

佐倉図書館整備を市民参加で

新町活性化を目的に加え、佐倉図書館の複合施設への建て替えが検討されている。庁内会議の議事録によると驚くことに、3階まで吹き抜けにした「山車」の常設展示まで検討されている。魅力ある人の集う図書館にするには、情報公開を進めながら市民参加の検討会で一から作り上げていくことが重要である。市民意見をどう取り入れていくのか、見解を伺う。

ワークショップやアンケートで市民ニーズの把握に努める。

ワクチン接種問題について

ワクチンには必ず水銀やアルミニウム、ホルムアルデヒド等有害な添加物が含まれ、副反応のリスクがある。またジフテリアやポリオなど自然感染がない疾患や、風邪よりも軽い風疹、おたふく、水ぼうそう、ロタなど防ぐ必要のない感染症もある。国は保育園等の入園に関し「ワクチン未接種を理由に受け入れ拒否できない」と見解を示した。佐倉市の現状と見解を伺う。

ワクチン未接種を理由に入園を断った事案はない。今後も事業者と考えるの相違がある場合は受け入れるよう指導していく。

再任用の見直しについて

再任用職員でも残業時間が200時間を超えている者もいる。その課で誰よりも残業しているのはどういうことなのか。

振りかえた休みの日に勤務したものと認識している。

再任用職員の週3日、4日などの契約があるのに結局フルタイムで来ている、足りない分を残業でつけているのなら再任用制度そのものの意義を疑問視せざるを得ない。

年収269万円から617万円に再任用規則を変更した理由は「経験の浅い管理職が増えたから」ということだが、なぜ事前にわかっていることにも関わらず退職前に後進の教育を終わらせず、議会と市民に秘密で強引なルール変更をしたのか。

前議会でのこの問題を指摘しなれば見直しにもならずそのままだった。さらに、3月1日の千葉日報に大きく掲載された佐倉市職員の新聞記事でもそうだが、外から指摘を受けるまで「自浄作用も発揮できない組織の力」、議員、市民の知らないところで行う「透明性の高い公正で開かれた市政」とは一体何なのか。

今後服務規程を再確認する。

市民ネットワーク 五十嵐智美

特別養子縁組について

国の2014年度の児童虐待による死亡は0歳児が27人、うち生後24時間以内は15人。市が実施している「予期せぬ妊娠SOS」の相談状況を伺う。

電話や妊娠届時に相談がある。出産や子育ての制度や費用などの情報提供や支援を実施。

医療機関からの情報提供は。今年度は7件。地区担当保健師が家庭訪問などを行い医療機関と連携しながら支援。

特別養子縁組の斡旋や周知を進める法律が成立。虐待を防ぐために市民や医療機関に縁組制度の広報が重要。いかがか。

広報紙やHPで周知する。

次期高齢者福祉・介護計画

コミュニティバスの運行が来年度から始まる。高齢者など交通弱者に配慮した点はあるか。

低床バスや自由乗降区間の設定など高齢者や子育て世代にも配慮した運行形態を検討する。

買い物や病院通い等にバス路線以外の多様な運行手段も必要。船橋市では自動車学校などの送迎バスに乗車できる高齢者支援バスを実施。既存の事業者に協力いただく手法の採用は。

様々な方法を研究していく。

用語解説

※「食と農の景勝地」制度

「地域の食」とそれを生み出す「農林水産業」、魅力ある景観等の「地域資源」を効果的に活用し、訪日外国人を誘客する取り組みを「食と農の景勝地」として農林水産大臣が認定する制度。訪日外国人観光客の観光需要を国産農林水産物・食品の需要拡大や農山漁村の所得の向上につなげていくことを目的としている。

平成29年2月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄

可決
同意
賛成

可決
同意
賛成

否決
不採択
反対

議長

議案番号	議案名	議決結果	会派No.	さくら会														公明党				のぞみ			市民ネットワーク			日本共産党		会派に属さない議員		
				4	6	7	8	10	17	18	22	23	24	26	27	28	9	16	21	25	1	2	11	13	14	15	3	12	5	19	20	
				敷根文裕	望月庄子	高木大輔	平野裕子	爲田浩	石渡康郎	村田穰史	川名部実	山口文明	櫻井道明	押尾豊幸	清宮誠	中村孝治	久野妙子	小須田稔	岡村芳樹	森野正	斎藤明美	徳永由美子	橋岡協美	大野博美	伊藤壽子	五十嵐智美	木崎俊行	萩原陽子	山本英司	藤崎良次	富塚忠雄	
市長提出議案 ※白抜き数字は諮問番号																																
1	平成29年度佐倉市一般会計予算	可									議																					
2	平成29年度佐倉市国民健康保険特別会計予算	可									議																					
3	平成29年度佐倉市公共用地取得事業特別会計予算	可									議																					
4	平成29年度佐倉市農業集落排水事業特別会計予算	可									議																					
5	平成29年度佐倉市介護保険特別会計予算	可									議																					
6	平成29年度佐倉市災害共済事業特別会計予算	可									議																					
7	平成29年度佐倉市後期高齢者医療特別会計予算	可									議																					
8	平成29年度佐倉市水道事業会計予算	可									議																					
9	平成29年度佐倉市下水道事業会計予算	可									議																					
10	平成28年度佐倉市一般会計補正予算	可									議																					
11	平成28年度佐倉市一般会計補正予算	可									議																					
12	平成28年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算	可									議																					
13	平成28年度佐倉市公共用地取得事業特別会計補正予算	可									議																					
14	平成28年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算	可									議																					
15	平成28年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	可									議																					
16	平成28年度佐倉市後期高齢者医療特別会計補正予算	可									議																					
17	佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
18	佐倉市市民公益活動サポートセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
19	佐倉草ぶえの丘の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
20	佐倉市飯野台観光振興施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
21	佐倉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
22	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び佐倉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
23	佐倉市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
24	佐倉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
25	佐倉市青年館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
26	佐倉市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
27	契約の締結について	可									議																					
28	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同									議																					
29	農業委員会委員の任命について	同									議																					
30	農業委員会委員の任命について	同									議																					
31	農業委員会委員の任命について	同									議																					
32	農業委員会委員の任命について	同									議																					
33	農業委員会委員の任命について	同									議																					
34	農業委員会委員の任命について	同									議																					
35	農業委員会委員の任命について	同									議																					
36	農業委員会委員の任命について	同									議																					
37	農業委員会委員の任命について	同									議																					
38	農業委員会委員の任命について	同									議																					
39	農業委員会委員の任命について	同									議																					
40	農業委員会委員の任命について	同									議																					
41	農業委員会委員の任命について	同									議																					
42	農業委員会委員の任命について	同									議																					
43	農業委員会委員の任命について	同									議																					
1	人権擁護委員候補者の推薦について	同									議																					
陳情 ※白抜き数字は陳情番号																																
11	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	不									議																					
議員提出議案 ※数字は発議案番号																																
1	一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可									議																					
2	テロ等準備罪（組織犯罪処罰法改正案）に反対する意見書	否									議																					
3	高齢者を中心とした社会保障負担増路線の撤回を求める意見書	否									議																					
4	実行ある労働時間の上限規制で過労死根絶を求める意見書	否									議																					
5	国内でのオスプレイの配備撤回を求める意見書	否									議																					
6	いわゆる共謀罪新法案の国会提出の撤回を求める意見書	否									議																					
7	家庭教育支援法案の国会提出の撤回を求める意見書	否									議																					

2月定例会 主な議案の概要

市長から提出された議案のうち、議案第1号～第9号は平成29年度の一般会計、各特別会計、公営企業会計の当初予算、議案第10号～第16号は平成28年度の一般会計と各特別会計の補正予算、議案第17号～第26号は条例の制定、議案第27号は契約の締結、議案第28号～第43号と諮問第1号は人事に関する議案です。（なお、議案第1号～第9号の概要は、1ページに記載しています。）

【議案第10号・第11号 平成28年度佐倉市一般会計補正予算】
議案第10号の債務負担行為の補正は、志津コミュニティセンターなど3施設において、平成29年度当初からの施設管理方式の変更に伴い、今年度内に契約事務等の必要が生じたことによるもの。

議案第11号は、歳入歳出それぞれ13億9016万5千円を減額するものであり、補正後の予算総額は481億1711万円。歳入の主なもの、国・県支出金、繰入金、財産収入などの減額及び市税、寄附金、市債などの増額。歳出の主なものは、生活保護費等給付事業、市管理街灯LED化事業、幼稚園奨励事業などのほか、各事業の執行に伴う計数整理による減額及び観光施設整備事業、小学校施設改築・改造事業などの増額。

【議案第17号 佐倉市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】
【議案第18号 佐倉市市民公益活動サポートセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】
【議案第19号 佐倉草ぶえの丘の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】

【議案第20号 佐倉市飯野台観光振興施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】
いずれも公の施設に導入されている指定管理者制度を廃止し、本年4月から市が直接管理運営を行うために必要な規定を整備しようとするもの。

会派等の意見

やんごた

一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

現在の職員の再任用制度は、その人件費が高額にもかかわらず、改正のために議会の議決が必要な「条例」ではなく、議会の議決が不要な「職員の再任用に関する規則」によって、恣意的な運用が可能な状況にある。24年度は再任用職員数36名、再任用職員人件費総額が約1億円。25年度もほぼ横ばいの37名、約1億円。しかし、この25年度には、それまで1級から3級であった再任用職員に突然6級再任用職員が3名採用されている。また、26年度には5級の再任用職員も採用された。問題は、25年度に6級、26年度に5級が追加されたにもかかわらず「職員の再任用に関する条例」も「職員の再任用に関する規則」も改正がされていない点である。つまり、平成27年10月に規則の改正により「別表」が新設されるまで、5級、6級として採用する根拠がなく、議会や市民にもその根拠が明らかにされないまま、市長の「決裁」のみで年収600万円を超える再任用職員が採用されていた。お手盛りとも言える決裁の運用により24年度36名、約1億円であった再任用職員が27年度には63名、約2億円に膨れ上がり、28年度見込みでは、75名、約3億円に到達するとみられる。さらに、29年度計画では91名、約3・5億円と見積もられている。再任用職員は定数条例の対象となるため、新人職員採用にも影響を及ぼしかねない状況である。また、3月1日に新聞で報道があった件のみならず、再任用職員の過剰と言わざるを得ない残業が存在することが今議会でも明らかになった。勤務日数などにある程度の制約のある再任用職員が過剰な残業をするのであれば、再任

用制度そのものの意義を疑問視せざるを得ない。したがって恣意的運用の可能性を排除するために「一般職職員の給与に関する条例」によって再任用職員の給与を1級から3級までと定め、4級から7級を削除するものである。その結果、発議案第1号は21名の賛成多数で可決された。今回のように後から理由がつけ足されたとは思えない、法令に基づいていない恣意的な運用には議会と市民に対して説明責任が生じる。多額の税金を投じたのだから今後もはつきりと問いただしていかなければならない。

公明党

議案第1号 平成29年度一般会計予算に賛成

評価するものとして、自治会から移管された市管理街灯のLED化事業による予算と住民負担の軽減、温暖化対策として小中学校普通教室への空調設備導入へ向けた調査予算、公共交通対策事業のコミュニティバス導入に向けた試験運行の実施など新規予算が挙げられる。さらなる努力を望むものとして、建て替えを予定している佐倉図書館について、新町地区は景観条例の見直しで重点区域となる歴史のまち佐倉を代表する地域である。図書館の所管は教育委員会であるが、建設に関しては、この地区のまちづくりを念頭に全庁的な検討を要望する。

敬老事業運営事業は前年度予算より450万増の6500万となっている。敬老祝金贈呈事業の330万と合わせると約6830万となる。これに比して、一生に一度の若者の成人式が予算176万で、高齢者と若者の予算に偏向が見られる。早急に事業の見直しを要望するとともに改善策が提案されないようであれば、公明党としてしかるべき対応を検討する。

のぞみ

議案第1号から議案第9号までの平成29年度当初予算、議案第11号平成28年度佐倉市一般会計補正予算は、以下の意見を添えて賛成。シテイプロモーションや佐倉図書館等新町活性化複合施設整備については、ワークショップの手法の中で子ども参画や若者参画を実行するよう努めてください。社会福祉協議会の財政再建については公的支援のあり方を研究して取り組むことに努めてください。学習支援の拡充や子ども食堂についての研究、難聴児に対する支援や放課後デイの課題、就学援助などは、子どもたちの最善の利益となりうるよう努めてください。老朽化したふるさと広場の佐蘭花の改修工事は、アンケートの上、マルシェかしまと機能、目的を住み分けし、ふるさと広場の活性化と観光の拠点づくりに資するよう努めてください。

市民ネットワーク

主な反対理由。議案1号

①ハッ場ダム事業出資金増額。脆弱な地質問題で国は事業費を増額したが、今後も地すべり対策等で増額の可能性は大。②マイナバー関連費。情報漏洩、国民監視、プライバシー侵害などの危険性がある。特別徴収税額決定通知書に個人番号を記載して事業者に送付することは問題。③住民票等コンビニ交付事業。費用対効果の検証が必要。④すべてのワクチンには有害な添加物が入っている。遺伝子組み換え製造の子宮頸がん・B型肝炎ワクチンは接種後数年たってから副反応が出る恐れあり。⑤岩名球場整備費。老朽化対策、バリアフリー化など多様な市民ニーズ対応の目的から外れた豪華すぎる施設整備。議案2・12号医療費抑制目的の国保都道府県化の予算計上。議案9号 大幅な下水道料金値上げの予算化。

日本共産党

平成29年度一般会計予算に反対
ハッ場ダム事業への負担金・出資金9243万8千円が計上され、平成31年度までの市負担総額は8億6251万円と見込まれる。地盤の悪さから崩落の危

険もあり、今後の負担も危惧される。協議の場もなく負担し続けることは納得できない。水質の悪い水を市民に押し付けることになる上、水道料金値上げに直結する事業には賛成できない。国民健康保険特別会計には国保を県単位に広域化する予算が含まれており、市町村の自主性が制限される施策に反対する。

会派に属さない議員

議席5番

議案第9号に反対します。

7月1日より下水道使用料が33%の値上げをし、収益的収入予定額は37億7370万になるが、本改定は急激かつ大幅なものであり、改定の前に値上げ幅軽減に向けた下水道事業計画の見直しを求める。

議席19番

市立小学校改修工事契約

本工事の入札は、予定価格（定価）が約1億5千万円であり、入札による発注価格は約1億3千8百万円であった。即ち、落札率は約92%と高いため、本契約に反対をした。また、入札参加者は3社と少なかった。

議席20番

陳情第11号に賛成

労働者の実質賃金は下落し、非正規労働者が4割に達し、4人に1人が年収200万円以下、消費支出も減少し続けている。最低賃金を引き上げ、中小企業支援策の拡充を求めているこの陳情は採択すべきである。

※議席番号と議員名の確認は4ページの議案賛否一覧をご覧ください。

委員会報告

※議案は市長提出議案
◎は委員長、○は副委員長

総務常任委員会

《審査結果》

議案10	議案11	議案12	議案13
可決	可決	可決	可決
議案16	議案17	議案18	議案21
可決	可決	可決	可決
議案22	議案23	議案24	議案27
可決	可決	可決	可決

開催日:平成29年2月20日、3月6日 / 場所:第四委員会室

議案12件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。
佐倉市市民公益活動サポートセンターの運営にあたっては、市民活動が充実するよう、市が市民協働に関する政策目標を主体的に掲げ、リーダーシップを発揮していただきたい。

〔委員〕◎中村孝治、○久野妙子、徳永由美子、高木大輔、萩原陽子、大野博美、川名部実

文教福祉常任委員会

《審査結果》

議案11	議案15	議案25
可決	可決	可決

開催日:平成29年3月7日 / 場所:第三委員会室

議案3件について審査し、その結果は左表のとおりです。

〔委員〕◎清宮誠、○爲田浩、斎藤明美、伊藤壽子、小須田稔、藤崎良次、山口文明

経済環境常任委員会

《審査結果》

議案10	議案11	議案14	議案19
可決	可決	可決	可決
議案20	陳情11		
可決	不採択		

開催日：平成29年2月20日、3月8日 / 場所：第二委員会室

議案6件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・佐倉草ぶえの丘及び佐倉市飯野台観光振興施設に係る運営方法の見直しは、印旛沼周辺地域活性化計画を市が主体的に推進する立場を明確にするための選択であることから、横断的な連携や事業の検証等、直営による利点を最大限に発揮した運営に努めていただきたい。
- ・観光拠点施設「佐蘭花」は、印旛沼周辺地域活性化に資する主要施設であることから、市内外からの来訪者に対する「おもてなしの窓口」として機能強化は重要性を増しており、利用者ニーズを捉えながら、新たな客層の掘り起しを図る等、関係部署は連携して回遊性の向上につながる積極的な取り組みをお願いしたい。

〔委員〕◎押尾豊幸、○平野裕子、木崎俊行、敷根文裕、山本英司、望月圧子、森野正

建設常任委員会

《審査結果》

議案11	議案26
可決	可決

開催日:平成29年3月9日 / 場所:第一委員会室

議案2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

〔委員〕◎櫻井道明、○石渡康郎、橋岡協美、五十嵐智美、村田穰史、富塚忠雄、岡村芳樹

佐倉市議会のホームページもご覧ください

佐倉市のホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp/>から

→ 佐倉市議会

をクリック



お知らせ

事務局からのお知らせはありません。

※ 議会中継

※ 会議録検索

※ 会議の予定

※ スマートフォンサイト

※ 議会だより

Google カスタム検索

検索 ×

本日の予定

本日の予定はありません

本日の議会中継

●会議録が検索できます！

平成元年以降の本会議の会議録のほか、平成27年5月以降の常任委員会や議会運営委員会など委員会等の会議録も検索することができます。

●インターネット中継を見ることができます！

本会議の模様を、開催時間中にライブ中継で見ることができるほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を見ることができます。（平成29年4月からスマートフォンからでも視聴できるようになりました。）

今議会において、議員発議による「一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」が賛成多数により可決されました。

この条例は再任用職員の給料の決め方が不透明であるため条例により明確化を図るものです。

議員からこのような議案が提出されたことは、非常に意義深いことだと思えます。

（広報公聴委員 石渡康郎）

広報公聴委員会の役割は、「議会だより」の発行だけではなく、議会報告会や意見交換会の開催も担っています。この4年間は市内で活動している団体等との意見交換会は行ってきましたが、市民誰でも参加できる意見交換の場も必要です。他市の議会カフェといった取り組み等を参考に佐倉らしい手法を検討し、開催すべきと思います。

（広報公聴委員 五十嵐智美）

議会百景

6月定例会の予定 議会を傍聴してみませんか

◆議会運営委員会	5月30日(火)
◆招集日	6月 5日(月) 午後1時から
◆一般質問	6月12日(月)～15日(木)
◆常任委員会	6月19日(月)～22日(木)
◆最終日	6月26日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては事務局までお問い合わせください。議会事務局 TEL 043-484-6254

■インターネット中継：本会議(招集日・一般質問・最終日)の模様を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。

■CATV議会放映：本会議の模様を開催日の翌日午後5時30分から放送。

【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

スマートフォンアプリで佐倉市議会だよりを ご覧いただけるようになりました！

「マチイロ」アプリをダウンロードすることにより、スマートフォンやタブレットから佐倉市議会だよりをご覧いただくことができるようになりました。



※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担となります。

※マチイロアプリは、QRコードを読み取るか、App Store・Google Playから「マチイロ」を検索してダウンロードすることができます。